

ビードデプレッサー



ビードデプレッサーは、タイヤ交換用の補助ツールです。特にロープロファイルタイヤやランフラットタイヤの交換作業時に適切な量だけビードを押さえることが出来るため、経験の少ない作業者にも安全にタイヤの組み換えが行えます。

■収益率の高いロープロファイルタイヤの取り組みに！
作業難易度が高いロープロファイルタイヤは、タイヤやホイールの損傷リスクが高く、取扱が積極的でないケースを見受けます。ビードデプレッサーを使うことにより、作業の「標準化」が可能でありタイヤやホイールの損傷リスクを低減することが出来ます。

■タイヤ組み込み時のビード損傷防止に！

タイヤ組み込み時のビード損傷は、エアー漏れやバーストの原因となります。タイヤ交換後のクレーン防止やお客様の安全性を高める意味で、安全・確実なタイヤ組み込み作業を実現出来ます。



ビードデプレッサーの特徴

- ビードを適量だけ押し下げることが出来ます。
 - 標準リムとエクステンディッドリムに対応出来ます。
 - 作業途中で外れる可能性が低い。
 - 樹脂製であり、かつホイールディスクやフランジ部を損傷し難い構造となっています。
- *リムフランジ表面には接触しません。

ビードデプレッサーは **こんな時、便利です！**

■上ビードめくり上げ作業

ビードの硬いランフラットタイヤ等では最も苦勞する作業です。ビードデプレッサーをめくり上げるビードと反対側に使用することで、ビードを確実にドロップセンター（リム深底部）へ導きます。BMWやGTRの純正リムに採用されているEH2（エクステンディッドリム）にも対応します。

■上ビード組み込み作業

タイヤビードを損傷させる可能性の最も高い作業です。サポートデバイスでタイヤとリムの隙間を作り、ビードデプレッサーを一定間隔で装着します。ビードデプレッサーは、適切な量だけビードを押し下げますので、タイヤへの負担を最も少ない状態でタイヤを組み込むことが可能です。タイヤ組み込みサポートデバイス（ヘルプ装置等）の押さえ過ぎで、ビードを損傷しているケースも少なくありません。

